

2020年度事業計画

岡山商科大学専門学校

1 現状と課題

(1) 在学生数推移

	2018年度		2019年度		2020年度	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年
トラベル観光学科	3	10	5	2	8	4
まんがネットショップ学科	6	4	5	6	2	4
事務職養成学科	2	4	5	2	8	5
大学編入学科・国際総合ビジネス学科（留学生）	69	52	60	51	71	52
キャリアアップ学科	0	/	0	/	0	/
キャリア専攻学科（留学生）	8	/	29	/	23	/
学年合計	88	70	104	61	112	65
合 計	158		165		177	

2020年度までに学生数を150名とする「岡山商科大学専門学校 学校安定化推進計画」の基本目標を、3年連続で達成できた。

(2) 学科について

- ① トラベル観光学科
 - ・常勤教員が1名増えて2名になるが、国際総合ビジネス学科の観光やホテル関係の科目を担当することになるので、科間の連携を図る。
- ② まんが・ネットショップ学科
 - ・入学者が低迷しており、学科改編も視野に入れる。
- ③ 事務職養成学科
 - ・2020年度の入学生には3名の既卒者がおり、今後も既卒者の入学に向けてアピールできる広報を企画していく。
- ④ 大学編入学科・国際総合ビジネス学科
 - ・大学編入学科を国際総合ビジネス学科に改編した1期生が入学する。カリキュラムなどを検証しつつ認知度を高める。
- ⑤ キャリア専攻学科
 - ・2019度は就労ビザを申請中の学生も多く入学したが、2020年度は少ない。早期に就職活動を始め、進路への意識付けを図る。

(3) 施設設備について

- ① Windows 7のサポートが2020年1月に終了することに対応したパソコンの更新が昨年度完結したので、年次計画で進めているエアコンの更新を重点的に行う。

2 事業計画

(1) 附帯教育

岡山商科大学社会総合研究所主催の資格講座（商大塾）について、日商簿記検定（初級）しか開講できていない。2020年度からは社会総合研究所の管轄になる。

(2) 連携教育

① 岡山商科大学附属高等学校

ア. 連携教育指定講座の実施

附属高校の課題研究（3年生2単位）の中で、「ドリカムゼミ」を実施していたが、2019年度は希望者がなく開講できなかった。連携教育特待生として授業料の一部を免除する制度も設けており開講に向けて準備を進めている。

イ. インターンシップ（体験授業）

継続して行ってきたが、2019年度は実施できなかった。2020年度は本校の様々な学科の授業を体験してもらえるよう計画したい。

② その他

2019年度は、「学校見学会」等の申し込みがなかった。学校訪問の際受け入れが可能なことを周知していく。

(3) 広報活動（入学者確保）

① 日本人用の会場ガイダンスは全体の参加者が減少し着席者も少ないので、参加者が多いものに絞って出席する。校内ガイダンスは確実に出席者が見込めるので、こちらへの出席を増やす。

② 留学生については、引き続き改編した「国際総合ビジネス学科」の広報を重点的に行う。

③ 留学生対象の、オープンキャンパスを実施する。

(4) 情報公開

① 「大学等における修学の支援に関する法律による対象機関」として必要な情報公開を進めて認定された。必要なものはHPで公開している。

② 昨年度から学校関係者評価を始めたので、委員の評価結果に基づく改善を図る。

(5) 教育の質向上

① 留学生の教室に「プロジェクター」を整備したが、十分活用されているとは言えないので、ICTを活用したわかりやすい授業を推進する。

② オンラインで日本語の学習ができる「eラーニングシステム（4カ国語対応）」の課外での活用（日本語能力試験対策等）を推進していく。

③ 授業評価の実施・評価体制を構築する。

(6) 人事管理

① 目標管理によりPDCAサイクルを構築し、スパイラルレベルアップを図る。

② 常勤の教員が2名増加するので、より組織的な学校運営ができるよう校務分掌等を見直す。

③ 少人数の利点を活かし、明るく風通しの良い職場環境を構築する。